

対面&オンライン開催

創造国語 第4回 対面&オンラインセミナー

～「書くこと」を楽しむ子どもへ～

令和4年

8月27日(土)

8:30～12:30

資料代：500円

この夏、低中高学年分冊で創造国語発、『カクトレ』を刊行しました！



こちらから購入できます！

この本で紹介しているアイデアを活用して、授業提案をします。



8:00 8:30 9:00 ~ 9:30 9:45 ~ 10:30 10:45 ~ 11:30

受付	オープニング	授業①(30分間) 授業②で扱う文種に関連した『カクトレ』2章を活用した授業を行います	授業②(45分間) 『カクトレ』3章を活用し、授業①の学びを生かした授業を行います	授業①②協議会
		低学年(二年生) 表現の工夫を 考えよう ～「オノマトペ」と 「比喻」～ 佐野 裕基 (横浜国立大学附属横浜小)	広がる、広げる、 お話世界 (物語創作文) 安藤浩太 (昭島市立光華小)	なに書く? どう書く? 低学年の「書くこと」指導 司会 石川 和彦 (山梨大附属山梨小)
		伝えたいことは何? 必要なことを短く、 的確。要約マスター 森 壽彦 (川崎市立東小倉小)	附属横浜小を 紹介します (リーフレット) 白川 治 (横浜国立大学附属横浜小)	文種に合わせて 「書く」 司会 腰越 充 (川崎市立西有馬小)
高学年(六年生) 反論想定法を使って、 目指せ説得名人! 久保田 旬平 (早稲田実業初等部)	目指せ説得名人! (意見文) 麻生 達也 (横浜国立大学附属横浜小)	説得力のある文章を 「書く」 司会 榎谷 孝徳 (相模原市立清新小)		

創造国語HPもぜひご覧ください！

これまでの実践資料や著書の紹介、活動の記録など掲載しています。

<https://sites.google.com/view/souzoukokugo>

Twitterもあります！

@souzou_kokugo からどうぞ！



11:40～12:30 シンポジウム

「書くこと」の悩みについて考える

登壇者

青山由紀先生

(筑波大学附属小学校)

曾根朋之

(東京学芸大学附属竹早小学校)

コーディネーター

茅野 政徳 (山梨大学准教授)

主催：創造国語

提案授業紹介

低学年(2年生) なに書く? どう書く? 低学年の「書くこと」指導

授業①表現の工夫を考えよう～「オノマトペ」と「比喩」～

カクトレ(低学年)に掲載されているワークシートを使用して、「オノマトペ」と「比喩」という知識の習得をめざす授業を実施します。言葉によってイメージする様子がどのように変わるかを考えたり、動作化したりする活動を通して、表現の工夫(効果)について学ぶことができますようにします。

授業②広がる、広げる、お話世界(物語創作)

カクトレ(低学年)に掲載されている「オノマトペ」と「比喩」という技を生かして創作文を書くコツをつかむ授業を実践します。「低学年ならではの物語文創作」がキーワード。ペープサートを使いながら遊び込む中で芽生える、物語の世界を広げたいという思い。その思いをオノマトペや比喩、会話文という技で豊かに表現できるようにします。

中学年(4年生) 文種に合わせた「書く」

授業① 伝えたいことは何?

必要なことを短く、的確。要約マスター

カクトレ(中学年)に掲載されている「要約」を活用し、必要な情報を捉え、短く、的確にまとめる要約文を書く授業を行います。リーフレットは載せられる情報に限りがあります。そのため、「短く、簡潔にまとめる」ことが不可欠になります。相手に伝えるために、何が必要な情報かを捉え、限られた文字数で的確に伝える要約文を目指します。

授業②附属横浜小を紹介します。(リーフレット)

カクトレ(中学年)に掲載されている「図表」や「題名(見出し)」を活用して、学校を紹介するためのリーフレットを作成する授業を実践します。リーフレットは載せられる情報に限りがあります。だからこそ、「図表」を使ったり、「題名(見出し)」を工夫したりすることが大切になります。「情報をわかりやすく伝えるために」をキーワードにして、限られた紙面の中でどのように自分の想いを表現すれば良いかを考えていきます。

高学年(6年生) 説得力のある文章を「書く」

授業① 反論想定法を使って、目指せ説得名人!

カクトレ(高学年)に掲載されている「反論想定法」という説明の仕方の習得をめざす授業を実施します。予想される反論を考え、その反論に反論する自分の意見を考えていくことを通して、説得力の増す説明の仕方について学ぶことができますようにします。

授業②目指せ説得名人!(意見文)

カクトレ(高学年)に掲載されている「事例と主張」「反論想定法」「構成の工夫」等の学習を生かし、説得力のある意見文を書くためのカンドコロをつかむ授業を実践します。「読み手が納得する文章の極意」をキーワードにして、主張と合った事例、反論想定法、3つの型(頭括型、尾括型、双括型)の効果といった視点で2つの文章を比較する活動を通して、説得力のある文章とはどういうものかを考えていきます。

申し込み 締め切り 令和4年8月26日(金)



申し込み
QRコード

下記の URL または QR コードから peatix の申し込み受付ページにアクセスし、必要事項を入力してください。その際、事前に資料代として **500円**をお支払いいただきます。

創造国語 第4回オンラインセミナー申し込み URL : <https://souzoukokugo0827kakutore.peatix.com>

【注意事項】

- ・対面でのご参加は人数を制限して行う予定です。感染状況に応じてすべてオンラインで行う場合もありますので、ご了承ください。
- ・対面でのご参加をご希望の方は、**8月20日までにお申し込みいただいた方の中から先着順**とさせていただきます。
- ・資料、zoom の「URL」とパスワードを 8月20日(土)にメールでお送りする予定です。
- ・今回のセミナーは記録として録画させていただきます。事前にご了承ください。

【本セミナーへのお問い合わせ】

麻生 達也(横浜国立大学教育学部附属横浜小学校)

Email : asou-tatsuya-zr@ynu.ac.jp

【創造国語へのお問い合わせ】

茅野 政徳(山梨大学)

Email : mkayano@yamanashi.ac.jp